

# 想 OMOIBITO

生徒インタビュー

当時と今の事、教えてもらいました。



## 01

interview



荒川 礼奈さん

安心して暮らせるまちづくりが必要です。

若い世代もお年寄りの人も

### 震災当時の経験を通して伝えたいこと

震災当時は地元である広野町の小学校の児童館にいました。本や物がたくさんあり、地震と同時に落ちてきました。すぐに机の下に隠れたのですがとても怖かったです。その後は他県へ転々と避難して、東京にいる親戚と連絡がとれてからは東京に避難しました。避難する時は原発から遠いところを意識していました。知らない土地での生活が続き、この先どうなるのか不安な日々が続きました。家族は周りが知らない人ばかりで誰にも頼れないことが不安だったと話していました。広野町に戻ったのは、中学校に入学する5年後のことです。広野町に戻ってきたのは、地元の住みやすさが理由でした。実際に知っている人が周りにいるのは安心しましたが、広野町は震災から1年後に避難区域から解除されていたため、すでにコミュニティができていてすくには馴染めませんでした。あれから10年が経った今でも、いまだに震災の爪痕が残っている場所もあります。被災地以外の地域の方から心配の言葉をかけていただくこともあります。しかし、震災後もこの町で日常を過ごしていること、少しずつですが前に進んでいることはあまり知られていません。震災当時の大変な状況の時から、双葉郡や福島を良くしようと志し動いている人もたくさんいます。今の福島はそのような人たちの中で成り立っていることや、頑張っている人たちの活動について、この冊子を通して知っていただきたいです。震災から時が経ち、震災について関心を寄せる人は少なくなっていると思います。ですが、いつまた大きな災害が起こるかわかりません。当時、個人だけでなく国や東北電力も大きな事故や災害に備えることはできていませんでした。東日本大震災を通して、2度とこのようなことが起きないように、今一度災害について考え、1人1人が対策を考えてほしいです。そのためには震災の当事者として、震災を経験していない人やこれから生きる人たちのために、震災のことを伝えていきたいです。

### 現在とこれからの活動

日常生活はできるようになっていますが、まだ双葉郡はまちづくりも進んでおらず、人が戻ってこない現状があります。その課題を解決するため、私は探究活動ではまちづくりをテーマにしました。中高生へ双葉郡で震災があった過去を知ってもらい、「もし双葉郡が自分の住むまちだったら」と想定して、まちづくりについて考えてもらっています。探究活動を通して体験や思いを伝える中で、若い世代もお年寄りの人も安心して暮らせるまちづくりが必要だと考えるようになりました。そのために必要なのは、若い世代の力です。避難先での生活に慣れて、双葉郡へ戻ってこない人も増えています。そのような人が戻ってきたいと思える魅力を、今いる人たちが作ってほしいです。ふたば未来学園には同じ志を持った生徒がたくさんいるので、みんなで力を合わせて新しい双葉郡を作り県外へ伝えていこうと思います。



OMOIBITO 01

### 気になる事を聞いてみました!



夢に向かって頑張ります!

#### Q1 将来どのような仕事にしたいですか?

高校卒業後は大学に進学して、教育に関わることを学ぼうと考えています。きっかけは兄がお世話になった先生への憧れでしたが、震災の経験を未来へつなげるためにも、教師という仕事は合っていると思います。

#### Q2 地元の魅力はなんですか?

夕方、帰り道に見える海の景色がとてもきれいで、都会にはなかった魅力です。また、8月に行われるサマーフェスティバルも大好きです。屋台が出たり花火が上がったりして、地域の人たちが集まります。

#### Q3 ふたば未来学園の良いところはありますか?

NPO法人カタリバの大学生のみなさんがサポートをしてくれることです。勉強や探究活動のお手伝いをしてください。都会に住む人から見た視点や、出身の地域の話が参考になりました。

#### Q4 震災を通して伝えたい教訓はありますか?

避難していた当時、食料や物資がなくなるのではないかと不安に思う日々が続きました。震災の記憶も薄れ、万が一の備えをしていない人も増えていると思います。食料や物資を揃えておくこと、また災害の時は自分の身を一番に考えて動いてほしいです。

#### Q5 未来へのまちづくりに向けて必要なことはなんだと思いますか?

現在、国や東北電力は廃炉のことを優先して動いています。原発も大事なことです。それだけでは復興は進まないと考えています。復興に向けて動いている人たちがたくさんいることを知ってもらい、そのサポートがあれば変わるのではないかと思います。